

報道関係者各位

慶應義塾
チームラボ

慶應義塾、公式ウェブサイトを全面刷新 — 27 サイト・約 3.2 万ページを統合し、慶應義塾の全体像を国内外へ発信 —

慶應義塾（本部：東京都港区、塾長：伊藤公平）は、2026年4月、公式ウェブサイトを全面刷新し公開しました。今回の刷新では、学部・研究科等を含む 27 サイト・約 32,000 ページ規模の情報を新たな統一基盤へ移行・再構築し、閲覧者が必要な情報にたどり着きやすい導線へと見直しました。あわせて、AI を活用した機械翻訳による日英ミラー化、ウェブアクセシビリティへの対応強化、学生と研究の新たな連載コンテンツを開始しています。新サイトは、入試や学内情報の案内にとどまらず、慶應義塾の理念、教育、研究、学生の姿を立体的に伝える「慶應義塾を知る入口」として整備したものです。初めて慶應義塾に触れる人にも、その学びの特色や研究の広がり、キャンパスの空気感が伝わる構成を目指しました。

慶應義塾では、長年にわたり情報を蓄積してきた一方で、関連サイトの増加に伴い、「どこに何があるのか分かりにくい」「慶應義塾全体の姿がつかみにくい」といった課題がありました。そこで今回の刷新では、発信側の都合で情報を並べるのではなく、受験生や在学学生、卒業生、研究者、保護者、海外の利用者など、多様な閲覧者の視点から情報構造と導線を再設計しました。

■ リニューアルの背景と「チームラボ」との共創

本プロジェクトは、チームラボと共同で進めました。UX 設計、統一基盤の構築、フロントエンド実装を通じて、閲覧者が必要な情報へたどり着きやすい導線と、慶應義塾らしさを表現するデザインの両立を図りました。学部・大学院を含む複数サイトを横断して情報発信できる基盤を整備することで、慶應義塾全体として一貫したメッセージを発信しやすい環境を構築しています。

画像① トップページ（日本語）



3. 塾の未来を提示する「Keio FUTURE」【新設】

慶應義塾が取り組む学際的な研究や社会課題への挑戦を発信する新コンテンツです。朝日新聞・GLOBE+編集部の伴走支援により、研究者への取材を通して、慶應義塾が育む知と社会へのまなざしを伝えます。

画像③ 新コンテンツ 「Keio FUTURE」



4. 日英ミラー化によるグローバル発信の強化

国際的な情報発信を強化するため、日本語サイトと英語サイトを連動させる日英ミラー化を進めました。AI を活用した機械翻訳技術をシステム基盤に組み込むことで、日本語で更新した情報を英語でも迅速に発信できる体制を整え、研究者や留学生など海外利用者への情報提供の充実を図ります。

5. 単なるデザイン変更にとどまらない大学広報 DX を支える基盤整備

新 CMS は、専門的なプログラム知識がなくても更新しやすい設計とし、広報基盤の統一を通じて、組織横断的な情報発信のしやすさを高めています。今回の刷新は、単なるデザイン変更ではなく、慶應義塾全体の情報発信を支える基盤を再構築する取り組みでもあります。2026 年度以降は、一貫教育校や研究所等を含む約 50 サイトの第 2 次統合、研究者データベースの一元化も予定しており、より多くの慶應義塾関連サイトを統一基盤へ展開していく計画です。

■ 慶應義塾ウェブサイト URL

<https://www.keio.ac.jp/>

【制作協力】

チームラボについて

チームラボは、本プロジェクトにおいて、UX 設計からシステム基盤の統合、フロントエンド実装までを担当しました。

※ご取材の際には、事前に下記までご一報くださいますようお願い申し上げます。

※本リリースは文部科学記者会、各社社会部・教育部・文化部等に送信させていただいております。

・本リリースの配信元

慶應義塾広報室 担当：吉岡 望月 寺西 TEL：03-5427-1541 FAX：03-5441-7640

E-mail：m-pr@adst.keio.ac.jp <https://www.keio.ac.jp/>

チームラボ問い合わせ先情報

チームラボお問い合わせフォーム：<https://www.team-lab.com/contact/>